

○ 放送日 令和元年5月7日（火）、5月14日（火）

○ テーマ 「環境・社会・経済の調和がとれた、
魅力あふれる地域づくりを目指して」

○ 出演者 諏訪地域振興局長 小野沢 弘夫

○ 聞き手とのやりとり（概要）

Q 小野沢局長は、諏訪は二度目の勤務と伺いましたが？

A はい。30年以上前のことになりますが、県職員に採用されて初めての赴任地がこの諏訪でした。当時と変わらないところ、また、大きく変わっているところ、それぞれが感じられて、とても感慨深いです。

Q 局長にはなじみのあるこの諏訪のエリアを、どのような地域にしていきたいと考えていますか？

A 湖や山岳・高原などの厳しい自然と共存する中で、暮らしの中から学び、精密工業などの先端技術を磨いてきたのがこの諏訪の地域ではないかと思います。先人の方々が築いてこられた歴史、伝統を大切にしながら「環境・社会・経済の調和がとれた、魅力あふれる地域づくり」を目指していきたいと考えています。

Q 具体的にはどのような取組をしていくのでしょうか？例えば、諏訪湖についてはいかがですか？

A 諏訪湖に関しては昨年3月に『諏訪湖創生ビジョン』を策定しましたが、このビジョンに沿って、地域の関係団体等の皆さんと一体となり、“人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖”の実現に向けて、様々な取組を加速していきたいと思っています。

諏訪湖を中心として、水環境保全の環境の視点、漁業・観光振興の経済の視点、そして、学び・まちづくりにつなげる社会の視点、それぞれのバランスを取りながら、取組を進めていくことが大切だと考えています。

Q 先ほど、山岳や高原を抱える環境にも着目した発言がありましたが、こちらについてはいかがですか？

A 平成30年5月に、『星降る中部高地の縄文世界 –数千年を遡る黒曜石鉾山と縄文人に出会う旅–』というタイトルで認定された日本遺産のストーリーは壮大で、古代へのロマンをかきたてるものです。このような文化的財産を活用

しつつ、「ユニバーサルツーリズム」や「サイクルツーリズム」などの取組みも組み合わせ、誰もが楽しめる、そして誰もが訪れたい観光地域づくりを進めていきたいと思ひます。

また、八ヶ岳や霧ヶ峰の厳しくも雄大な自然環境を後世に残していくために、その生態系や景観の保全にも取り組んでいきたいと思ひます。

Q 分かりました。それでは最後に、小野沢局長が諏訪地域で新しくやってみたいことや楽しみにしていること、また、リスナーの皆さんに対するメッセージがありましたらお願いします。

A はい。今までお話ししてきたような、私が自分自身感じているこの地域の宝の発掘や地域の皆さんとのふれあいを積極的に行っていきたいと思ひています。私は、釣りや街歩きが趣味なので、街角で私を見かけたら声をかけていただけたら嬉しいです。私の写真は、諏訪地域振興局のホームページにメッセージとともに掲載していますので、ぜひ、こちらをご覧ください。

また、地域の皆様へのメッセージですが、私自身、「今、何に取り組むべきか?」、「今までの取組でよいのか?」を常に自らに問い続けながら、地域振興局の職員とともに行動し、他の諏訪地域の行政機関と連携しながら、この諏訪地域の発展に向けて一歩ずつ着実に取組を進めていきますので、地域の皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願いします。